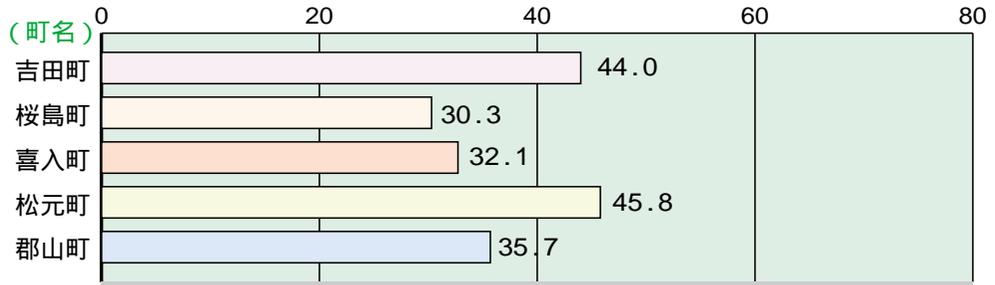
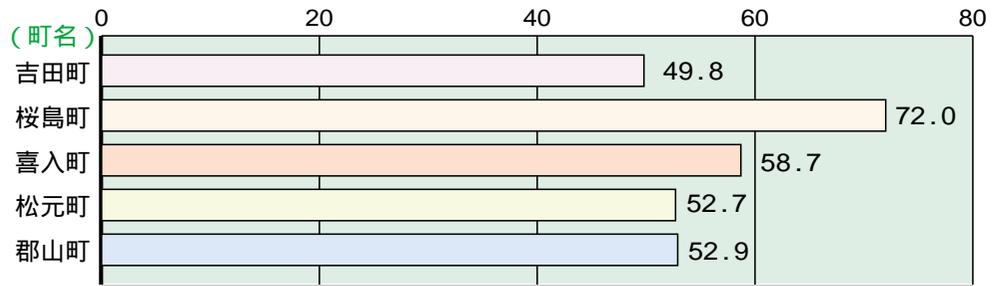


日常生活圏の拡大により 深まる一体化

鹿児島市への通勤率



鹿児島市への通学率



平成12年の国勢調査によると、鹿児島地区合併協議会を構成する5町(吉田・桜島・喜入・松元・郡山町)から鹿児島市への通勤率(全就業者のうち鹿児島市へ通勤する人の割合)は、松元町の45.8%(以下、吉田・郡山・喜入・桜島町)が最高となっており、一番低い桜島町でも30.3%と3人に1人は鹿児島市へ通勤していることになりました。(グラフ参照)

(以下、喜入・郡山・松元・吉田町)が最高で、一番低い吉田町でも49.8%とおおむね2人に1人は鹿児島市へ通学していることになりました。(グラフ参照)

このようなことから、日常生活の中では既に5町と鹿児島市は緊密なつながりを持っており、住民の意識の中でも行政区域をこえた「一体化したまち」として、今後も一層つながりが深まっていくものと考えられます。

鹿児島市

薩摩・大隅・日向の三国を統治した島津氏の77万石の城下町として薩摩藩政の中心となり、南九州の雄都として発展してきました。

明治4年の廃藩置県とともに県庁所在地となり、同22年全国で最初の市の一つとして市制が施行されました。

以来、明治44年(草牟田・武)大正9年(永吉・原良・玉里)昭和9年(中郡宇村・西武田村・吉野村)の隣接村編入により、市域面積は約80km²となり、昭和19年には人口約20万人の都市として大きく発展してきました。

また、昭和25年に伊敷・東桜島両村を編入し、昭和42年には谷山市と合併して新しい鹿児島市が誕生、現在では人口55万人を超える南九州における中核都市として発展を続けています。

松元町

明治4年の廃藩置県により元伊集院郷の一部に属していましたが、同17年上谷口・福山・春山・直木・入佐・石谷の6ヶ村に分割されました。

その後、明治22年4月の市町村制の実施により6ヶ村を統合して上伊集院村を新設し、役場が上谷口に置かれました。村制実施80年を経て、昭和35年4月に町制を施行して松元町と改称し、昭和62年3月に現在地に庁舎を移転しました。

鹿児島市の近郊地域であることや交通の利便性から人口は年々増加傾向にあり、平成12年の国勢調査による増加率では県内第1位(対前回は9.3%増)となっています。

郡山町

明治22年4月の市町村制施行で、郡山・西俣・油須木・厚地・東俣・川田をもって、郡山村として発足しました。

その後、昭和31年9月、町村合併促進法に基づき郡山村と下伊集院村の一部の屋田・嶽が大同団結(注1)し、郡山町として町制を施行しました。

鹿児島市に隣接する地理的な好条件に加え、水と緑の豊かな自然環境や史跡・温泉など豊富な資源に恵まれ、鹿児島広域都市圏の地域間交流の拠点として、農林業や観光の振興に努めています。

(注1)大同団結...いくつかの党派や団体が共通の目的のために、小さな意見の違いにこだわらずに一つにまとまること。(大辞林第二版より)

急速に展開する市町村合併の潮流の中で、忘れてはいけないもの、それは「住民の一体性」であり、真に「合併してよかった」といえるまちづくりのビジョンを構築していかなければなりません。

そこで、今回、もっと、もっとお互いのまちを知り、お互いのまちを理解してもらうため、各市町のこれまでの合併の歴史をひもとしてみました。



吉田町

明治22年4月の市町村制施行により、それまで5つの村(東佐多浦村・西佐多浦村・本城村・本名村・宮ノ浦村)からなる吉田郷を吉田村と改称し、当時の村は大字に改められ、現在に名残をとどめています。

町制施行については、昭和40年代前半から議論されてきましたが、県教育センターや県青少年研修センターの立地等を期に人口も増加し、村民待望の町制を昭和47年11月に施行しました。

また、町制施行後、大型団地の造成や九州自動車道の開通等で平成7年の国勢調査では県下1位の人口増加率の町となり、その後も着実な発展を遂げ、昨年は、町制施行30周年を迎えました。

桜島町

江戸期以降の桜島は、島全体が北大隅郡に属し、明治22年4月の市町村制施行によって、東桜島村と西桜島村(現在の桜島町)に分かれました。

昭和28年には『町村合併促進法』が制定・施行され、幾度となく鹿児島市との合併の話が持ち上がりましたが、村営フェリーの飛躍の発展やミカン・桜島大根栽培が全盛期を迎え、村は活気に満ちあふれ村民は自主独立の『村おこし』を考へようになり、昭和20年から34年前半頃まで続いた鹿児島市との合併に対する動きは、立ち消えとなっていきました。

その後、昭和48年5月に桜島町として町制を施行し、今年で町制施行30周年を迎えています。

各市町の 横顔

この広報紙は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

協議会を傍聴しませんか?

第5回協議会は
6月9日(月)午後3時~
かごしま市民福祉プラザ
5階大会議室
で開催いたします。

皆様のご意見・ご質問をお待ちしております。

ホームページアドレス
<http://www.kagoshima-gappei.jp/>

メールアドレス
gappei07@city.kagoshima.kagoshima.jp
TEL099-216-1119 FAX099-219-6616

編集後記

風薫る5月。澄みきった五月晴れの空には、元気がいっぱい泳ぐ鯉のぼりの群れ。世界規模で蔓延する新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の影響で、海外旅行を見合わせた方も多かったのでは。さて統一地方選挙も終わり、各自自治体それぞれが新たな執行体制のもとで、「住民に最も身近な政治」を展開していくことになりました。

鹿児島地区合併協議会の協議も4回目を数え、いよいよ住民の皆様が日常生活にかかわりの深い項目の協議に入っております。今度も協議会だよりやホームページを通して、逐一協議状況をお知らせしてまいりますので、皆様方のご意見・ご質問などお待ちしております。